

統計とは？ 統計グラフとは？

統計とは

す
統べて

多くのものを一つにまとめる

+

はか
計る

わたしたちは気温の変化や天気、植物の成長などの自然現象のしくみや、地域や社会の集団の特徴などを知るために、観察や調査、実験結果などのデータを集めて、それを整理し、集計します。このようにしてまとめた表や集計した数値を「統計」といい、その数字をグラフにしたものを「統計グラフ」といいます。

東京都総務局統計部 HP「東京都の統計」（まなぼう統計）より

統計グラフを作ってみよう！（統計グラフの作り方）

①調べるテーマを決める

みんなのランドセルの色は何色なんだろう？

②調べる方法を考える



③データを集める



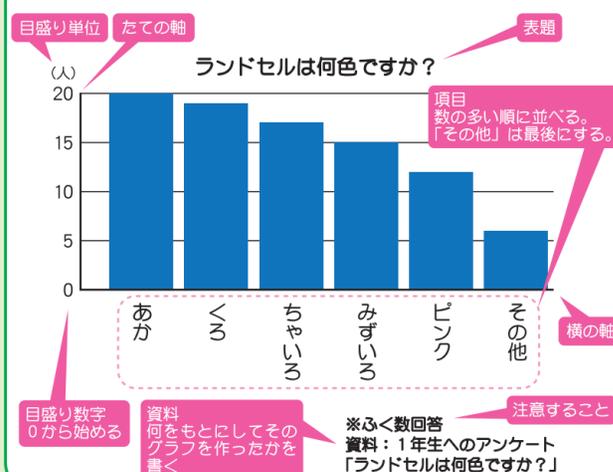
④集めたデータを統計表に整理する

統計表		(人)
あか	正正正正	20
ちやいろ	正正正	19
みずいろ	正正正	17
くろ	正正正	15
ピンク	正正	12
その他	正	6

⑤統計グラフを選ぶ

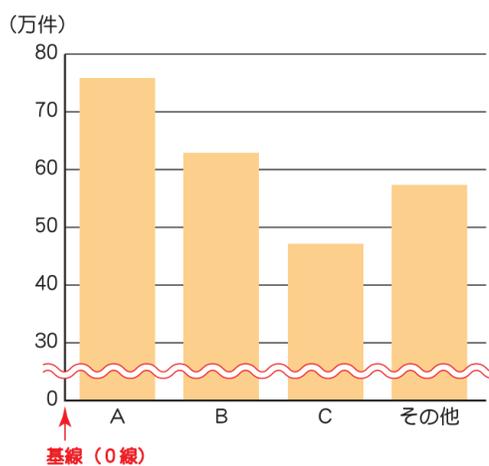


⑥統計表を統計グラフにする



主な統計グラフの特徴と作り方のポイント

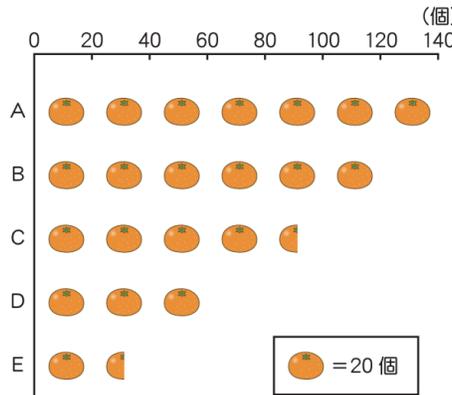
棒グラフ (2つ以上の数の違いや大きさを比べるのに適しています)



▼ポイント

- 棒は必ず0の目盛り線（基線）の上に立てる。
- 目盛り数字の間隔は同じにする。
- 数量の大きいものから順に並べる。
- 「その他」は数がどんな大きさでも最後にする。
- 波線または二重線で途中を一か所だけ省略できる。

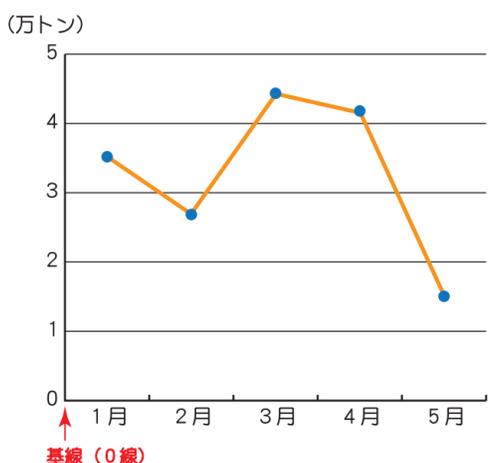
絵グラフ (表現や観察のしやすいグラフです)



▼ポイント

- 絵は同じ形、大きさにそろえる。
- すべての絵を同じ単位にする。
- 一つの絵の数値を示す単位の凡例を必ず表示する。
- 絵の始まりをそろえて、同じ間隔にする。

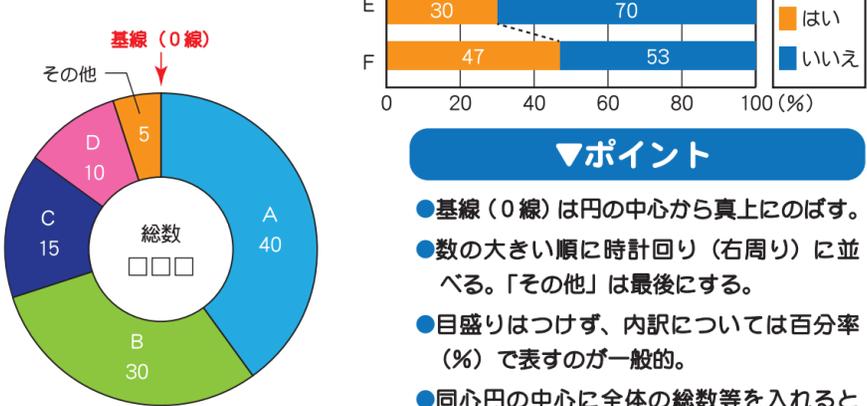
折れ線グラフ (数が変わっていく様子を見るのに適しています)



▼ポイント

- 基線は必ず0にする。
- 縦軸に数量、横軸は時間をとる。
- 時間の目盛りは、時間が経過した長さと同目盛りの間隔を比例させる。

百分比グラフ (内訳の構成比 (%) を見るのに適しています)



▼ポイント

- 基線 (0線) は円の中心から真上にのぼす。
- 数の大きい順に時計回り (右周り) に並べる。「その他」は最後にする。
- 目盛りはつけず、内訳については百分率 (%) で表すのが一般的。
- 同心円の中心に全体の総数等を入れると分かりやすい。